

商工振興ビジョンロードマップに係る中間評価について

資料1
第18回 振興会議 (H30.7.12)

商工振興ビジョン関連の総合戦略とKPI			商工振興ビジョンロードマップおよび事業実施計画					指標の達成状況									中間評価	
基本目標	数値目標	KPI 【商工振興ビジョンのKGI】	前中期 ロード マップ	事業名	具体的施策			指標	平成27年度			平成28年度			平成29年度			
					事業実施計画の項目	実施年度	進捗状況		計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	実績		比較
し い と	○就業者数 34,853人 (H26) ↓ 36,000人 (H31) ○事業所立地数 2,908件 (H26) ↓ 3,000件 (H31)	○市内事業所の総売上額 7,960億円 (H24センサス) →7,204億円 (H26センサス) →8,756億円 (H31センサス) ○開業(創業を含む)事業所数 157件 (H24センサス) →455件 (H26センサス) →220件 (H29センサス) ○商工業を振興するまちづくりが 推進されていると思う市民の割合 19.9% (H26) →25.2% (H28) →26.0% (H31) ←	1 ・ 中 小 企 業 の 経 営 基 盤 強 化	1 中小企業等信用保証料助成制度	■ 県緊急経済対策資金信用保証料助成制度拡大延長	28~31	継続	各制度の助成件数	59件	7件	△ 52	—	—	—	—	—	—	既存の各事業については、2カ年の実績しかないので、目標達成に向けた有効性の判断は困難であり、平成31年度まで引き続き事業を実施していくべきである。 ただし、計画に比して実績件数が少ない事業が散見されることから、対象者への周知にも課題があると考えられるため、より一層の情報提供方法にも工夫が必要である。 また、実績件数が増える見込みが少ない制度については、現状や課題を踏まえ、人材確保や事業承継に対する支援制度や創業者向けの新制度などを創設して予算を配分することも中小企業の経営基盤強化に向け有効である。
				2 りっとう創業塾の実施	■ りっとう創業塾の実施	27~31	継続	創業者数 ※創業支援事業計画目標値	9名	2名	△ 7	9名	5名	△ 4	9名	3名	△ 6	
				3 創業支援希望者の支援体制の確立	■ 創業支援希望者のネットワーク構築		未実施	市助成件数	—	—	—	40件	23件	△ 17	40件	31件	△ 9	
					■ 元気な中小企業や施策を紹介するメールマガジン配信制度創設		未実施											
					■ (仮称)創業支援事業計画推進協議会の立ち上げ		未実施											
				4 栗東市小規模事業者持続化補助金制度	■ 小規模事業者持続化補助金の市単独助成制度	28~31	拡大	市助成件数	—	—	—	40件	23件	△ 17	40件	31件	△ 9	
				5 ビジネスチャンス拡大「りっとう元気力向上相談会」事業	■ よろず支援拠点連携によるサポート体制の確立	28~31	継続	相談件数	—	—	—	18件	6件	△ 12	24件	6件	△ 18	
					■ よろず支援拠点の定期的相談窓口開設	28~31	継続											
				6 空きテナント活用によるチャレンジショップ事業	■ 空きテナント活用によるチャレンジショップ事業	28~31	継続	創業者数 ※創業支援事業計画目標値	—	—	—	5名	1名	△ 4	5名	1名	△ 4	
				7 小規模企業者支援のための「(仮称)出向くコンシェルジュ制度」の創設	■ 小規模企業者支援のための市管理職員による「(仮称)出向くコンシェルジュ制度」の創設	28~31	継続	訪問企業数	—	—	—	218社	76社	△ 142	51社	30社	△ 21	
				8 元気な中小企業応援ガイドブック	■ 「(仮称)元気な中小企業支援を応援するまちづくりガイドブック」の作成	29	実施済	作成部数	—	—	—	—	—	—	2,600部	2,600部	0	
				2 ・ 消 費 者 ニ ー ズ 創 出	○消費生活における市内での購買割合 H28調査結果数値の10%増加 35.0% (H28) →38.5% (H31) ○栗東市庁舎内(域内含む)での市内調達率 H27調査結果数値の10%増加 82.4% (H27) 金額ベース →90.6% (H31) ←	【目的】 消費者のニーズとのマッチングによる地域内の経済の好循環を生み出すため	9 消費者ニーズ等の調査事業	■ 消費者ニーズ調査	28~29	実施済	消費ニード創出のための事業は継続して実施していくべきであるが、調査の結果を踏まえると、情報発信や情報共有を重点化することで効果が高まることから、課題の解決に向け、市民や事業者の意見を聞きながら、連携して進めていく必要がある。 コンビニエンスストア等との連携について、商品開発は、課題を解決するために時間を要することから、長期的な視点で進めていく必要がある。 特名商品の販売販路の拡大については、ブランド創出と連携して、継続的に取り組んでいく必要がある。							
								■ 市民・消費者・事業者ワークショップ	29	実施済								
								■ 多様な主体の意見交換・情報共有を図るためのプラットフォームの構築		未実施								
								■ 市民が買物をしやすい環境整備や店舗誘導の検討		未実施								
								■ くりちゃんバスの利用状況の調査		未実施								
								■ 無料送迎バスの社会実験		未実施								
								■ コンビニエンスストアと協働した商品開発		未実施								
■ 地場産品コーナーの設置運動		未実施																
■ 大学との相互協定等の締結	29	実施済																
10 域内調達拡大運動	■ 市既存補助制度見直しによる域内経済循環推進		未実施					庁舎内での市内調達率 ※商工振興ビジョン目標値	—	—		—	79.60%	78.20%	△ 0.01	81.60%	調査中	
	■ 域内調達拡大運動	28~31	継続															
	■ 市の全調達に占める調達比率の引上げ	28~31	継続															
	■ 【仮称】こなんビジネスマッチングフェアの開催		未実施															
	■ 市の補助事業見直しによる地元事業者活用特典の付与		未実施															

商工振興ビジョンロードマップに係る中間評価について

資料1
第18回 振興会議 (H30.7.12)

商工振興ビジョン関連の総合戦略とKPI			商工振興ビジョンロードマップおよび事業実施計画					指標の達成状況									中間評価				
基本目標	数値目標	KPI 【商工振興ビジョンのKGI】	前半期 ロード マップ	事業名	具体的施策			指標	平成27年度			平成28年度			平成29年度						
					事業実施計画の項目	実施年度	進捗状況		計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	実績		比較			
まち	○20~40歳代人口 現状人口の維持 (29,500人) ○観光入込み客数 481,700人 ↓ 514,000人 (H31)	○栗東ブランドの認証件数 0件 (H27) ↓ 20件 (H31)	3 ・ ブ ラ ン ド 創 出	11 栗東ブランド事業の推進	■ 栗東ブランド認証制度事業	28~31	継続	栗東ブランドの認証件数 ※総合戦略KPI	—	—	—	—	—	—	—	—	—	これから着手する事業が多いことや進捗していない事業もあり、目標達成のために有効であるかの判断は困難である。 ブランドの創出による市民のまちに対する愛着の醸成という目的を達成にするためには、栗東ブランドの定義を明確にするべきであり、商工振興ビジョンの後期計画期間において、そのあり方を含めて、長期的な視点で取り組んでいく必要がある。 現在取り組んでいるブランド認証制度については、これまでの議論を踏まえた制度設計が必要である。			
					■ 認証ロゴマークの作成		未実施														
					■ シティセールス戦略等による積極的な情報発信		未実施														
					■ 栗東ブランド認証によるデザイン性の高いPR		未実施														
					■ 産学官連携によるブランド開発販売の実施		未実施														
					■ ブランド力向上を通じた中学生・高校生の地元企業インターン事業の実施		未実施														
					■ 栗東ブランド認証による域外消費に向けた展開		未実施														
					■ 大学連携による商品開発プロジェクトの実施		未実施														
					■ 大都市でのイベントへの積極的参加		未実施														
					■ 学校給食における地産地消の推進		未実施														
					4 ・ 栗 東 駅 前 ・ 手 原 駅 前 の 賑 わ い 創 出	12 栗東観光案内所の運営体制の拡充	■ 栗東観光案内所運営体制の充実	28~31	継続	来所者数	—	—	—	1,340人	2,095人	755	2,095人	16,535人	14,440	バル事業や市内で開催されている既存のまつり等については、一定賑わいの創出に繋がる効果があるが、同様のまつりが多く開催されている現状やイベント等だけでは限界があることも踏まえて、見直しや新たな支援制度を検討していく必要がある。 特に、栗東駅周辺については、住民と事業者により賑わいに対する考え方も異なることから、市民や事業者の意見を聞きながら、新しいまちづくりの方向性や方策を共有して取り組んでいく必要がある。	
							13 空きテナントの現況調査と活用検討	■ 栗東駅周辺まちづくり事業	28~31	継続	空きテナント数										
								■ 空きテナントの現況調査	28	実施済	・栗東駅前地区 ・手原・安養寺地区	—	—	—	—	66件 73件	—	64件 71件	—		—
							14 既存のまつり等のイベントの検証と見直し	■ 既存のまつり等のイベントの検証と見直し	28~31	継続	りっとう市民秋まつり来場者数	—	—	—	—	—	—	2,000人	1,700人		△ 300
								■ (仮称) 街かど美術館事業		未実施											
							15 栗東駅前のにぎわい創出	■ 栗東駅前夏祭りの継続	29~31	継続	来場者数	—	—	—	3,000人	4,000人	1,000	3,000人	5,500人		2500
								16 中心市街地活性化関連事業	■ りっとうバル・まちゼミ・セール事業	28~31	継続	りっとうバル参加事業者数	103店	50店	△ 53	700店	64店	△ 636	722店		61店
			■ 中心市街地活性化に向けた取組みの検証と見直し		未実施																
			■ 立地適正化計画による中心市街地活性化事業		未実施																
			17 商工会館バリアフリー化事業	■ 安養寺景観まちづくり協議会との連携拡充		未実施															
				■ レンタサイクル事業拡充		未実施															
				■ 商工会館バリアフリー化事業	29	実施済															

商工振興ビジョンロードマップに係る中間評価について

資料1
第18回 振興会議 (H30.7.12)

商工振興ビジョン関連の総合戦略とKPI			商工振興ビジョンロードマップおよび事業実施計画				指標	指標の達成状況									中間評価	
基本目標	数値目標	KPI 【商工振興ビジョンのKGI】	前半期 ロード マップ	事業名	具体的施策			平成27年度			平成28年度			平成29年度				
					事業実施計画の項目	実施年度		進捗状況	計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	実績		比較
し い と	○20~40歳代人口 現状人口の維持 (29,500人) ○観光入込み客数 481,700人 ↓ 514,000人 (H31)	○観光を振興するまちづくりが 推進されていると思う市民の割合 22.1% (H26) → 22.9% (H28) → 30.0% (H31)	5 ・ 観 光 事 業 推 進	18 地域資源活用による観光事業推進	■ 観光資源の開発（地域資源活用ビジョンの策定と効果的な運用）	28~31	継続	マスコットキャラクター観光イベント参加回数	11回	4回	△ 7	17回	7回	△ 10	11回	10回	△ 1	観光施策については、費用対効果や需要などを的確に把握した上で、施策展開とその検証を重ね、各事業の継続の判断をしていく必要がある。このことを踏まえ、観光ニーズを的確に反映した「選択と集中」を行い、計画的に観光資源の整備と情報発信などのPRを実施していく必要がある。 計画の策定にあたっては、他自治体事例も参考にしながら、「馬のまち」をはじめとする既存の地域資源の特性を踏まえた活用施策の検討を行い、市民意識の醸成を図り出るところから推進していく必要がある。
					■ マスコットキャラクター活用による本市PR事業	27~31	継続											
				19 湖南4市の広域観光の連携拡充	■ 湖南4市広域観光推進	27~31	継続	観光入込客数（日帰り）※総合戦略KPI	481,700人	541,000人	59,300	541,000人	472,500人	△ 68,500	472,500人	確定作業中	—	
					20 観光客向けのコンテンツ拡充	■ 観光客向けパンフレット等拡充事業	28~31	継続	観光パンフレット作成部数（ぶらり栗東）	—	—	—	10,000部	12,600部	2,600	10,000部	10,000部	
				21 観光振興計画策定		■ 栗東ならではのホスピタリティのある案内標識の検討および設置		未実施	・日本語版 ・中国語版 ・英語版	—	—	—	10,000部	12,600部	2,600	10,000部	10,000部	
■ 観光振興計画策定事業	29~31	継続																
■ グリーンツーリズムの実施に向けた実態調査	29~31	継続																
				■ 観光客や観光事業者へのニーズ調査	29~30	継続												
				■ 着地型観光商品開発に向けた旅行会社タイアップ	29~31	継続												

【目的】
多くの人が立ち寄ることのできる環境整備による、交流人口の増加のため